

WordPress レッスンブック

5.x対応版



エビスコム 編著

最新情報PDF ver.1.7

2021年7月22日更新

本 PDF では、最新の WordPress 5.x およびグーテンベルクに合わせて『WordPress レッスンブック 5.x 対応版』の解説を更新していきます。PDF の最新版については下記サイトを参照してください。

<https://github.com/ebisucom/wplesson>

グーテンベルクでは細かい変更が頻繁に行われていますので、定期的に本 PDF を確認していただければと思います。

エビスコムの著者NOTEやTwitterでもWordPressに関する情報を出していますので、参考にしてください。

著者NOTE: <https://ebisu.com/notecat/wordpress/>

Twitter: <https://twitter.com/ebisucom>

変更箇所一覧

IE 対応について	3
-----------------	---

書籍の変更箇所	本 PDF での解説ページ
P.57.....	4
P.73.....	4
P.92	5
P.99 ～ 100	5
P.102.....	6
P.103.....	6
P.104.....	7
P.106.....	8
P.120.....	8
P.123	9
P.124.....	9
P.127 ～ 128.....	10
P.199	10
P.218	11
P.243.....	12
P.290	12
P.310	13
P.313	14

補足解説

「テーマ」または「テーマ構成ファイル」のアップロードについて.....	15
-------------------------------------	----

最新情報 PDF の更新履歴	17
----------------------	----

IE対応について

本書では APPENDIX でテーマレベルでの IE 対応についての解説をしています。

しかし、WordPress5.8 では IE 対応が終了となり、CSS をはじめとして根本的な見直しが進んでいます。

そのため、本書でも IE はサポート外とさせていただきます。
(テーマレベルでのサポートでは、対応しきれないためです)



WordPress 5.8 Tatum | WordPress.org 日本語
<https://ja.wordpress.org/2021/07/21/tatum/>

Internet Explorer 11 サポートの終了

Internet Explorer 11 のサポートは今回のリリースに含まれません。これは、将来的に修正されないサイト管理上の問題が発生する可能性があることを意味します。現在、IE11 を使用している場合は、[最新のブラウザに切り替えることを強くお勧めします。](#)



Browse Happy
<https://browsehappy.com/>

WordPressが提供する
最新ブラウザ情報。

P.57

P.57のようにタイトルをクリックしても記事のURLが表示されなくなりました。記事ページを開くためには、文書設定の「パーマリンク」でURLをクリックしてください。

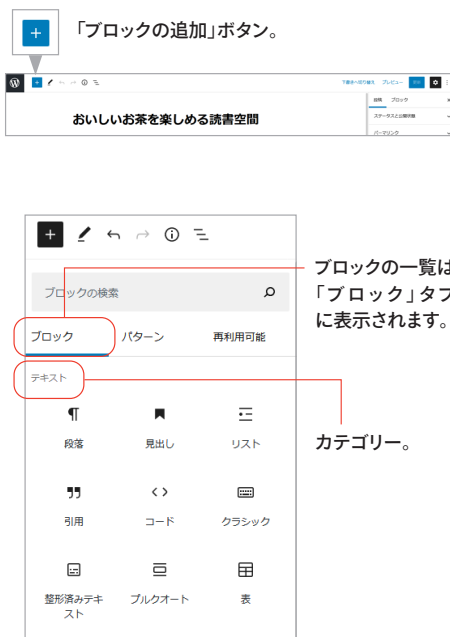


P.73

「ブロックの追加」ボタンで表示されるブロックの一覧は、新しいカテゴリーで分類されるようになりました。本書で使用したブロックの場合、次のようにカテゴリーが変わっています。

ブロック	旧カテゴリー	新カテゴリー
画像	一般ブロック	メディア
ギャラリー	一般ブロック	メディア
カバー	一般	メディア
メディアと文章	レイアウト	メディア
カラム	レイアウト	デザイン
スペーサー	レイアウト	デザイン
ブルクオート	フォーマット	テキスト
テーブル(表)	フォーマット	テキスト

※P.100の「テーブル」ブロックは「表」ブロックに表記が変わっています。



P.92

STEP 3-2 の④ (P.92) では、グーテンベルクの CSS ③「theme.min.css」が <style> を使ってインラインで読み込まれるようになっています。

```

...
<link rel="stylesheet" id="wp-block-library-css" href="http://www.www/www/
wp-includes/css/dist/block-library/style.min.css?ver=5.8" type="text/css"
media="all">
<style id="wp-block-library-theme-inline-css" type="text/css"> ... </style>
...

```

フロントに出力された設定

P.99～100

P.99～100 ではギャラリーの配置を変更しますが、「左寄せ」にしたギャラリーをクリックで選択するのが難しくなっています。このような場合、右のように「アウトライン（旧ブロックナビゲーション）」を利用すると、簡単に選択できます。

memo

「アウトライン」にはページを構成しているブロックがリストアップされます。P.242のように選択中のブロックの階層構造を確認するのにも利用できます。

memo

WordPress 5.7では「アウトライン」を使わなくても、クリックで選択できるようになっています。



「ギャラリー」を選択。

P.102

P.102 の「カテゴリー」ブロックのように、「ウィジェット」カテゴリーのブロックを「中央揃え」の配置にしてもエディタでの表示が変化しなくなりました。ただし、「中央揃え」の設定はこれまでと同じようにブロックに付与されるため、P.102 や P.103 の CSS を適用すると、フロントでの表示は中央揃えになります。

エディタでの表示も中央揃えにする場合、次の CSS を `editor-style.css` に追加します。`editor-style.css` の設定は [STEP 3-6](#) (P.118) で行いますので、必要な場合は設定後に追加してください。

```
[data-align="center"] .wp-block-categories,
[data-align="center"] .wp-block-latest-posts,
[data-align="center"] .wp-block-archives,
[data-align="center"] .wp-block-tag-cloud,
[data-align="center"] .wp-block-latest-comments,
[data-align="center"] .wp-block-rss {
    text-align: center;
}
```

`editor-style.css`

P.103

[STEP 3-4](#) の④ (P.103) に掲載した「画像」、「音声」、「埋め込み」、「テーブル」ブロックでは、右の CSS で左右マージンを削除していました。WordPress 5.8 では、[B](#) の CSS に含まれるようになっています。

```
figure {
    margin-left: 0;
    margin-right: 0;
}
```

`style.css`



memo

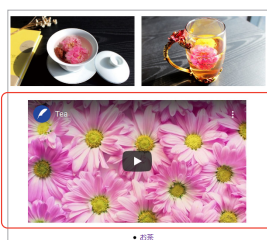
この設定は追加したままでも問題はありません。

P.104

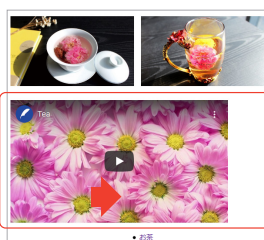
YouTube ブロックを挿入すると、WordPress 5.7 までは下記のようになっていますが、WordPress 5.8 では **B** で「max-width: 100%」が適用され、横幅が変化するようにになっています。ただし、500 ピクセルより大きい横幅にはなりません。

STEP 3-4 の **④** (P.104) では左右の余白（マージン）を削除しても、YouTube ブロックの横幅が変化せず、500 ピクセルの横幅に固定された表示になります。さらに、**⑤** (P.104) で画面の横幅を変えても表示が変化しません。これは、<iframe> に適用されていた「width: 100%」が **B** から削除されたためです。

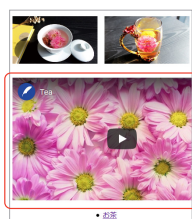
WordPress 5.3RC4以降



左右マージンが入っている状態。



左右マージンを削除したときの表示。



画面の横幅を変えてもYouTubeブロックの表示が変化しません。

⑤ (P.105) の設定 `add_theme_support('responsive-embeds')` を追加すると、YouTube ブロックの <iframe> に **B** の「width: 100%」が適用され、書籍と同じように縦横比を維持して可変になります。横幅も 500 ピクセルより大きくなり、記事の横幅に合わせたサイズになります。

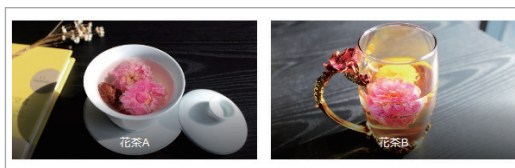


P.105の設定で縦横比を維持して変化するようになります。

P.106

P.106 ではギャラリーのキャプションがオーバーフローし、表示が崩れていました。しかし、グーテンベルクの CSS **B** でキャプションに対して「box-sizing: border-box」が適用されるようになったため、P.107 の設定を追加しなくても崩れずに表示されるようになっていきます。

ただし、エディタではグーテンベルクの CSS **A** で「box-sizing: border-box」がすべての要素に適用されていますので、P.107 の設定は追加しておくことをおすすめします。



ギャラリーの表示。キャプションが崩れずに表示されます。

```
body {
    box-sizing: border-box;
}

body *,
body ::before,
body ::after {
    box-sizing: inherit;
}
```

P.107の設定。

style.css

P.120

エディタのテキストの表示には、P.120 のように明朝系のフォントが使用されていましたが、ゴシック系のフォントが使用されるようになりました。

そのため、エディタ用の CSS (editor-style.css) に P.119 でコピーした設定に含まれている「body {font-family: sans-serif;}」の設定がなくても、ゴシック系のフォントで表示されます。



この設定は追加したままでも問題はありません。



エディタの表示。下記の設定がなくてもゴシック系のフォントで表示されます。

```
/* フォント */
body {
    font-family: sans-serif;
}
```

editor-style.css

P.123

P.123 のセレクト「.editor-post-title__input」を追加しなくても、タイトルが body で指定したフォントで表示されるようになっています。



この設定は追加したままでも問題はありません。

WordPress 5.5以降



```
/* フォント */
body,
.editor-post-title__input {
    font-family: sans-serif;
}
```

editor-style.css

P.124

STEP 3-7 (P.124 ～) で画面幅を小さくしたり、記事の横幅を設定すると、画像の縦横比が崩れるようになっています。

これは、width と height 属性が付加された画像 の出力に、グーテンベルクの CSS で「max-width: 100%」が適用されるようになったためです。

縦横比を維持するには、「height: auto」を適用します。追加する場合、右のように基本的な設定として style.css の一番上に追加します。



「max-width」と「height」の設定はP.179のようにもともとグーテンベルクのCSSで適用されていた。しかし、WordPress 5.3RC4で適用されなくなったため、これまで本PDFではSTEP 5-3 (P.176) の段階でこの設定を追加していました。



この設定はWordPressのバージョンによって適用・不適用が変わってきた経緯があるため、「maxwidth」と「height」をいっしょに適用しておくことをおすすめします。

WordPress 5.6以降



```
@charset "UTF-8";
/* ...
Version: 1.0
*/

img {
    max-width: 100%;
    height: auto;
}
```

```
.alignleft {
    ...略...
```

style.css

WordPress 5.7以降

WordPress 5.5以降

P.127~128

WordPress 5.7 以降のエディタでは、記事の横幅の最大幅が 840 ピクセルになりました。

さらに、WordPress 5.5 以降のエディタでは、ブロックの両サイドに 30 ピクセルの余白が含まれなくなっています。

そのため、P.128 のように横幅に「+30px」を追加しなくても、フロントと同じ横幅でブロックを表示できるようになっています。



P.197やP.213でも「+30px」を追加する必要はなくなっています。

```
/* 横幅 */
.wp-block:not([data-align="full"]):not([data-align="wide"]) {
    max-width: calc( 720px + 30px );
}
```

```
/* 横幅 */
.wp-block:not([data-align="full"]):not([data-align="wide"]) {
    max-width: 720px;
}
```

editor-style.css

P.199

P.199 のように画像 <figure class="wp-block-image"> に適用された CSS を確認すると、グーテンベルクの CSS **B** で適用される設定が margin のみになっています。

これにより、全幅・幅広の画像の表示は P.201 と P.211 のように「max-width: none」を追加しなくても実現できるようになりました。ただし、他のブロックで必要になるケースも考えられるため、追加しておくことをおすすめします。

P.201の設定。

```
.alignfull {
    margin-left: -10px;
    margin-right: -10px;
    max-width: none;
    width: auto;
}
```



style.css

```
.wp-block-image {
    max-width: 100%;
    margin-bottom: 1em;
    margin-left: 0;
    margin-right: 0;
}
```

```
.wp-block-image {
    margin-bottom: 1em;
}
```

WordPress 5.6以降。

```
.wp-block-image {
    margin: 0 0 1em;
}
```

WordPress 5.8以降。

```
.alignwide {
    margin-left: calc(...);
    margin-right: calc(...);
    max-width: none;
    width: auto;
}
```



style.css

P.218

STEP 7-1 の④ (P.218) でウィジェットの管理画面を開くと、ブロックベースの管理画面が開きます。グーテンベルクのブロックを使ってメニューを作成できますが、作成手順が大きく変わります。また、新しい機能のため、今後のリリースで仕様が変わる可能性もあります。

書籍と同じ手順でメニューを作成するためには、ブロックベースのウィジェットを無効化し、従来型のウィジェット（クラシックウィジェット）を使用して作業をすすめてください。

ブロックベースのウィジェットを無効化するためには、functions.php に次のコードを追加します。

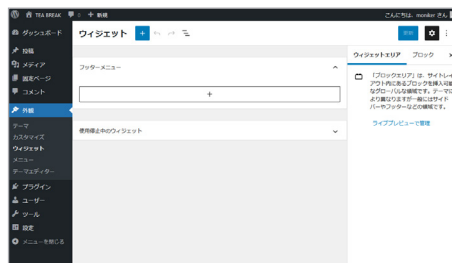
```
<?php

function mytheme_setup() {
    ...略...
    // 全幅・幅広を有効化
    add_theme_support( 'align-wide' );

    // ブロックベースのウィジェットを無効化
    remove_theme_support( 'widgets-block-editor' );
}

add_action( 'after_setup_theme', 'mytheme_setup' );
```

functions.php



ブロックベースのウィジェットの管理画面。



従来型のウィジェットの管理画面。



Classic Widgetsプラグイン

「Classic Widgets」プラグインを使ってブロックベースのウィジェットを無効にすることもできます。

P.243

P.243の「ライト・グレー」が標準のカラーパレットからなくなっています。書籍と同じ薄いグレーに設定する場合、「カスタムカラー」をクリックし、色の値を「#eeeeee」と指定してください。

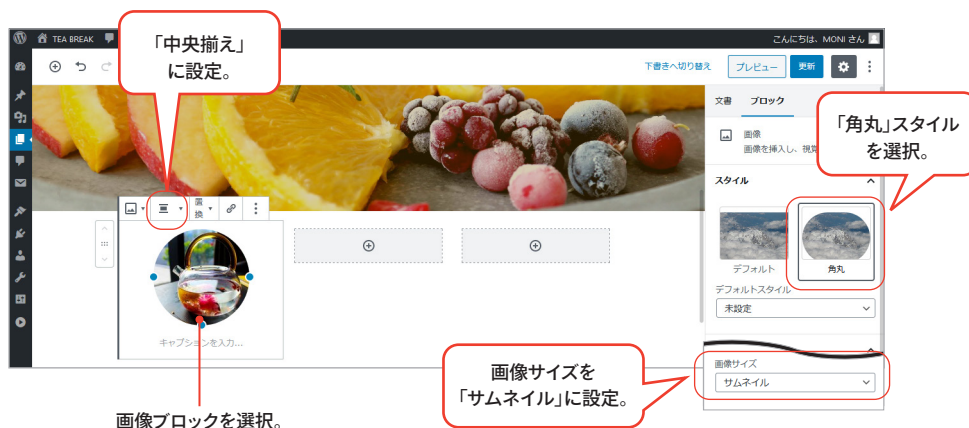


WordPress 5.6以降

P.290

P.290で使用しているブロックスタイル「丸形マスク」はWordPress 5.4で削除されました。画像を円形に切り抜く場合は、「丸形マスク」の代わりに用意された「角丸」スタイルを利用します。

ただし、「角丸」スタイルで円形に切り抜くためには正方形の画像を使用する必要がありますので、STEP 9-4の⑩（P.290）では次のように設定を行ってください。⑪以降は問題なく進めていただけます。



下位互換により、「丸形マスク」で設定済みの箇所の表示は保たれます。



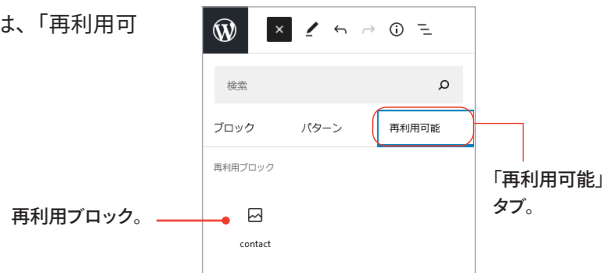
「サムネイル」は150×150ピクセルの正方形の画像サイズです。画像をアップロードしたときに自動生成されています。

P.310

P.310「① 再利用ブロックとして登録する」では再利用ブロックを登録する際のUI（インターフェース）が変わっています。



続く②で再利用ブロックを利用する際には、「再利用可能」タブで選択します。



③では再利用ブロックの編集手順が変わっています。まず、再利用ブロックを選択し、リスト表示（P.242の旧ブロックナビゲーション）でブロックの構造を確認します。すると、「contact」再利用ブロックの子階層に画像ブロックが入っていることがわかります。



再利用ブロックを編集する場合、この子階層のブロックを選択して編集していきます。
ここでは画像ブロックを選択して編集します。

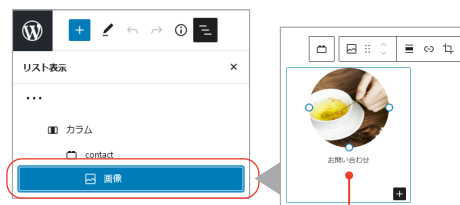
memo

画像ブロックの画像を他の画像に変更する場合、「置換」ボタンをクリックします。



memo

再利用ブロックを通常のブロックにする場合、「通常のブロックへ変換」ボタンをクリックします。

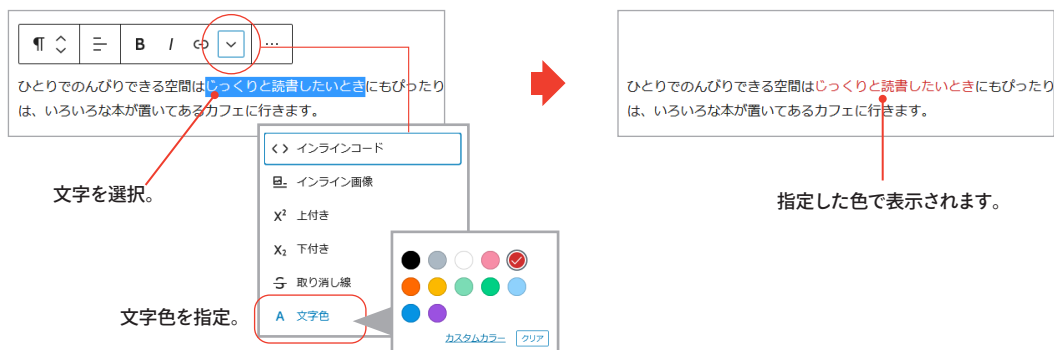



「contact」再利用ブロック内の画像ブロックを選択して編集。

WordPress 5.5以降

P.313

リッチテキストで文字のデザインを指定する機能は、WordPress のバージョンアップごとに拡充されています。文字の色についても、P.313 のプラグインを使わずに設定できるようになっています。



文字を選択。

文字色を指定。

指定した色で表示されます。

「テーマ」または「テーマ構成ファイル」の アップロードについて

SFTPやFTPSでアップロードする方法

テーマ名が未設定なテーマ（STEP 1-5 で用意するもの）や、テーマの制作過程でファイルをアップロードする場合には、SFTP や FTPS（FTP over SSL）のクライアントアプリケーションを利用して、サーバーにファイルをアップロードします。

SFTP と FTPS は、名前は似ていますが全く異なるプロトコルです。そのため、お使いのレンタルサーバーでどちらが使えるのか、また、使う際の設定方法をよく確認してください。

代表的なレンタルサーバーの設定に関するページは以下のとおりです。他のレンタルサーバーでも、同様の情報が用意されていると思います。



FTPはセキュアではないため、最近ではあまり使いません。FTPとFTPSがHTTPとHTTPSの関係に当たります。

Xserver

<https://www.xserver.ne.jp/>

SFTP (SSH) :

https://www.xserver.ne.jp/manual/man_server_ssh.php

FTPS (FTP) :

https://www.xserver.ne.jp/manual/man_ftp_spec.php

ConoHa WING

<https://www.conoha.jp/wing/>

SFTP (SSH) / FTPS (FTP) :

https://support.conoha.jp/wing/guide/ftpsssh?btn_id=wing_guide-ftpsssh

ロリポップ

<https://lolipop.jp/>

SFTP (SSH) :

<https://lolipop.jp/manual/user/ssh/#p-client-setting>

FTPS (FTP) :

<https://lolipop.jp/manual/hp/ftp-set/>

カラフルボックス

<https://www.colorfulbox.jp/>

SFTP (SSH) :

<https://help.colorfulbox.jp/manual/ssh-use/>

FTPS (FTP) :

<https://help.colorfulbox.jp/manual/ftp-conf/>

さくらのレンタルサーバ

<https://www.sakura.ne.jp/>

SFTP (SSH) :

<https://help.sakura.ad.jp/206054152/>

FTPS (FTP) :

<https://help.sakura.ad.jp/206054522/>

mixhost

<https://mixhost.jp/>

SFTP (SSH) :

<https://help.mixhost.jp/hc/ja/articles/115003742132>

FTPS (FTP) :

<https://help.mixhost.jp/hc/ja/articles/115003735291>

WordPressでアップロードする方法

完成したテーマなど、テーマフォルダ単位で ZIP 形式でバックされたテーマは WordPress の機能を利用してアップロードすることができます。アップロードの方法は次のとおりです。

- ① メニューから「外観＞テーマ」を選択し、「新規追加」をクリックします。

- ② 右のような表示になりますので、「テーマのアップロード」をクリックします。

- ③ 「参照」をクリックして ZIP 形式でバックしたテーマを選択します。

ここではダウンロードデータの「themes」フォルダ内に同梱した mytheme9.zip を選択しています。mytheme9.zip は「themes」フォルダ内のテーマフォルダ「mytheme9」（Chapter 9 の完成テーマ）を ZIP 形式でバックしたものです。

選択したら「今すぐインストール」をクリックします。

- ④ アップロードが完了すると、右のように「インストールが完了しました」と表示されます。「有効化」をクリックすると有効化することが可能です。

memo

レッスンプックのダウンロードデータをそのままアップロードすることはできませんので、注意してください

memo

テーマ名が未設定なテーマ（STEP 1-5 で用意するもの）をこの方法でアップロードするとエラーとなります。



最新情報PDFの更新履歴

ver.1.7 (2021年7月22日更新)

- WordPress 5.8 での変更を追加 (P.5、P.6、P.7、P.10、P.11、P.13)。
- P.3 『IE 対応について』を追加。

ver.1.6 (2021年3月21日更新)

- WordPress 5.7 での変更を追加 (P.8、P.10)。

ver.1.5 (2020年12月22日更新)

- WordPress 5.6 での変更を追加 (P.5、P.8、P.9、P.10、P.12)。

ver.1.4 (2020年9月4日更新)

- WordPress 5.5 での変更を追加 (P.4、P.4、P.6)。

ver.1.3 (2020年8月13日更新)

- WordPress 5.5 での変更を追加 (P.4、P.9、P.10、P.13)。

ver.1.2 (2020年4月1日更新)

- WordPress 5.4 での変更を追加 (P.12)。

ver.1.1 (2020年2月8日更新)

- WordPress 5.3 RC4 での変更を追加 (P.7)。
- P.15 『「テーマ」または「テーマ構成ファイル」のアップロードについて』を追加。

ver.1 (2019年11月8日更新)

- WordPress 5.3 RC4 での変更を追加 (P.9)。